

東北3県でMADDOショップ強化

窓と床壁の断熱改修はTDYで検討

YKK AP

YKK AP(東京都、堀秀充社長)は1日、12年度の事業計画を発表した。そのなかで、復興応援プロジェクトとして、岩手、宮城、福島でMADDOショップの出店を支援し、早期に現状の18店舗(2月末現在)を100店舗へ増やす目標を示した。また、窓のみならず、床や壁もセットで断熱リフォームを提案する動きが出ていることには、「1社で進めるのではなく、TDYの取り組みのなかで考えていくことになる」と(堀社長)と述べた。



堀 社長

YKK AP(YKKの目標が掲げられた。K建材事業(国内外)の12年度計画は、売上高が3513億円(前年度比7.6%増)、営業利益は155億円(同89%増)と、強気

の目標が掲げられた。けん引役の一つは完成窓APWシリーズの販売増で、11年度は30億円の販売見込みに対し、12年度は101億円を計画している。

さらに、東日本大震災の被災地にMADDOショップを増やす事業もスタートする。MADDOショップは、窓のリフォーム営業から施工、メンテナンスまで

市に1店舗ずつYKKの窓専門店としてYKK APが10年4月から始めた事業だ。同事業は同社の製品を扱うサッシ業者や建材店が自己資金で出店し、同社がウェブサイトやチラシ、事例紹介などで支援している。

4月1日にはMADDOショップ推進室も新設し、東北での出店支援も含め、MADDOショップの拡充と対応力強化を進める。

だが、同社は新築も含め窓の相談を幅広く受けられる店作りを目指している。東北3県では、そうした「窓の相談窓口」としてのMADDOショップ出店を支援する計画だ。まずは盛岡、仙台、郡山の3

また、東北事業所の建て替えに向けた設備投資資金として34億円が計上された。東北事業所は震災で被災し一時操業を停止したが、現在は震災前と同様に稼働している。今回の建て替えは、国内工場を震災への備えや省エネ対策など、様々な点でより最適化していくうえで、モデル工場とするためのもの。

また、海外での設備投資も積極的に進める方針である。台湾では3月に約6億円を投資し、アルミサッシの加工工場を増築、生産能力を現在の1.5倍の年間2000トンとする。中国深圳市(華南地域)では年度内に約13億円を投資し、アルミサッシの押し出し機を1台増設、計3台で生産能力を現在の2倍の年間2万トンとする計画だ。

さらに、現在の能力給制度を徹底するなど公正な人事制度を構築し、定年制度を廃止できる環境を整備するとしている。

定年、65歳に延長

YKKグループは従来、再雇用制度を取ってきたが、13年度から25年度にかけて、段階的に65歳まで定年年齢を引き上げる方針を示した。